

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

市議会だより 第97号

平成元年 1 月 30 日
発行日 野市議会
日野市神明 1 - 12 - 1
電話 (0425) 85-1 1 1 1
内線 601~604

第4回定例会

一般会計

補正予算可決

4億6千690万2千円を追加

予算総額344億9千87万円となる

昭和63年第4回定例会は、12月9日から12月24日までの16日間にわたって開かれ、市長提出議案24件、議員提出議案2件、請願・陳情28件が審議されました。(審議結果は4頁に掲載)

今定例会に上程された、日野市緑地信託等に関する条例の制定については、調査研究が必要のため、閉会中の継続審査となりました。なお、11月9日には、昭和63年第4回臨時議会が開かれました。

本会議の経過

- 第4回定例会は、12月9日に開会しました。
- 初日には、会期を15日間と決定しましたが、最終日の23日に会期を1日延長し、16日間として12月24日閉会しました。
- 市長より行政報告が行われ、7名の議員から行政全般にわたる質問がなされました。
- 1 南部地域の医療施設用地取得の諸問題。
2 市民憩いの林間施設土地契約に関する問題点。
3 大成荘の改築工事計画を含め今後の大成荘について。
4 社会教育センターの諸問題。
5 40人学級に対する、教職員の人件費配分について。
6 市のマイクロバスの使用規定について。
7 図書館における、議会報告など議員個人の展示について。
8 市内医療機関の整備計画について。
9 市内のマイクロスコープの使用規定について。
10 図書館における、議会報告など議員個人の展示について。
11 市内のマイクロスコープの使用規定について。
12 市内のマイクロスコープの使用規定について。



凜とした梅の風情

おことわり
今回の市議会だよりの元号は、12月定例会における議案書、発言を、そのまゝ掲載してあります。

主な議案と内容

一般会計補正予算(第3号)

【補正額と補正後の予算総額】 4億6千690万2千円の増額補正で、総額344億9千87万円となりました。

【主な予算項目】 ①林間施設土地契約負担金(2千880万8千円、長野県安曇村の乗鞍高原に7千200mを借用する。附帯意見として、より広くすることの要望が付されました) ②松山2号線裁判和解金(3千400万円、東京高裁の和解勧告を受け入れるものです。面積1千200m。場所、日野台五丁目24番地) ③商品の安全確保及び適正化事業(20万円、15名による委員会を設置。この方達に資料の収集、調査研究を委託する) ④放射線測定器購入(49万円、放射線は電球に例えれば光にあたり、この機器は光があるかないかを測る、いわゆるガイガーカウンターです)

幼児教育センター条例を修正可決

【提案の内容】 昭和61年3月議会で、昭和64年3月末までの効力とされているこの条例の有効期限を取り去ろうというものです。

【修正の内容】 期限なしを昭和67年3月末までの効力を失う、としました。

【修正に関する意見】 (1)反対、教育の研究は、長い目でみてこそ真の成果が認識できるものだ。この機関を設置していくことは有意義なことだ。期限を付することは必要がない。(2)賛成①幼児教育環境の将来を考えると不安要素がある。国、都の財政協力も得られるよう、この3年間で努力されたい。②複数の修正案が出され、各々が否決されかねず、結果として原案が否決されることになる。この点を考慮した文教委員会の結論を尊重したい。

南多摩農業共済事務組合設立を可決

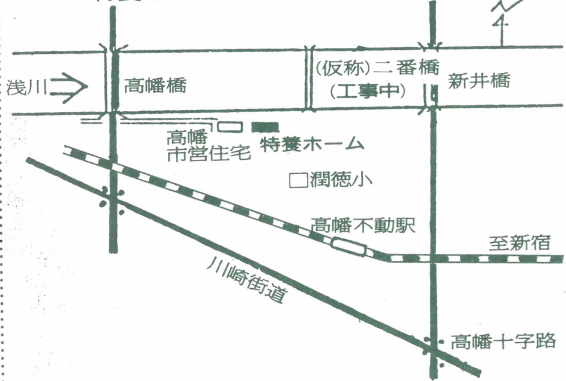
【設立の理由】 都市化が進み、各市毎に共済事業を行うには小規模になったことにより、【構成市】 八王子、町田、稲城、日野の4市。【設立】 昭和64年4月。【その他の関連】 日野市農業共済事業特別会計は、昭和63年度をもって廃止となります。

第4回臨時会から

特別養護老人ホームの工事契約議案を可決

- 昭和63年第4回臨時会が、11月9日開かれ、市長提出の3議案全部が可決されました。
- (仮称) 日野市立高幡特別養護老人ホーム
建築工事請負契約の締結
工事金額 6億8千万円
竣工 昭和65年2月
建物概要 4階建 延3千280㎡
 - (仮称) 日野市立高幡特別養護老人ホーム
電気設備工事請負契約の締結
 - (仮称) 日野市立高幡特別養護老人ホーム
給排水衛生気調和設備工事請負契約の締結

特養ホームはここに建てられます



新しい林間施設ができる予定の
長野県安曇村の位置図



鈴木 美奈子

(日本共産党)

市立病院内の「さやか学級」の存続と充実について

問1、「さやか学級」の存続について問う。

答1、心身症に類する病気が「さやか」との絡みもありますが、登校拒否すべてを位置づけることは、教育相談的な対応を含め検討が必要で、病院長事務長

答2、治療を受けながら教育も受けられるシステムは、患者さんにも病院医療にもプラスになると評価しています。

問2、病院経営の中の「さやか学級」の位置づけを問う。

答3、心身症、不登校の子供を「さやか学級」で学ぶことを位置づけられないか問う。

答、教育長

答1、入院を余儀なくされている子供たちの教育権の保障面から、現状は維持していきたいと考えております。

馬場 弘融

(自由市民会議)

立日橋開通にもなう地域の諸問題について

問1、明年3月、立日橋片側開通に伴う、東町地区の生活道路、広場、排水、ミニ公園整理などの現状を問う。

答1、2・2・10号線は64年4月片側開通、66年4月全線開通を予定しています。東町区画整理は、64年度まで調査を行い、65年度に事業決定をし、地元説明会を行う予定にしています。立日橋開通に伴う諸問題の解決に向け現在努力をしております。

答、都市整備部長、建設部長

答2、児童、生徒の安全のために学校とも協議し万全をつくします。

答、建設部長

答3、現在、5m幅の道路建設に向け、土地権利者と交渉中です。留保地については、市が取得し、体育施設や緑地としての利用目的を考えています。

馬場 繁夫

(公明党)

生活環境と交通安全対策について

問1、快適な環境をつくるには、従来の施策を進めると共に、誘導、調整を図りつつ、総合的、計画的な施策を推進するという環境管理の考え方が必要だとこの観点で取り上げたい。

問1、南平駅周辺の通学路を含む交通対策を聞きたい。

問2、市として駐車場に関する規定をつくれぬか。

問3、快適な環境とは、具体的にどのようなものか、一つ

の目安をつくらなければならない。

答、教育次長

答1、この地域に大型の店ができたに伴い、車がこんでしまった。今後の推移を調べ、その上で必要ならば通学路の見直しも考えていきます。

答、市長

答1、南平地域の方々の要望に対し、出店側にも責任を持つよう指導したところです。

答3、数値として示す内容には至っていませんが、提言には全く同感です。今後とも一層努力していきます。

答、都市整備部長

答2、市の要綱による指導の可能性を探ると共に、それ以外の方策も研究していきます。

中谷 好幸

(日本共産党)

「文化」的なまちづくりを、行政の「文化」化を、「文化」の革新を。

問、「文化」のまちづくりについて提言したい。

①街づくりに文化の視点を。学校など公共施設を文化的に

とされています。市民の方々の意見を広く聞き、それに応えるよう一層の勉強と努力を重ねていきたいと考えます。

問、米食を今後どう取り入れ、週2食、3食としていく考えがあるか問う。

答、教育次長

教育委員会として63年5月に米飯を週2回実施をする方針を出し、組合と協議しており、64年度から米飯週2回実施の方向で努力しています。

天野 輝男

(自由市民会議)

日野市の行財政について問う

問、財源を効果的に生かすため、施設の建設にあたっては、市民要望、専門家の意見等を取り入れ、永年使用できるものとし、なるべく委託し、一般財源から負担しないなど、努力が必要と思うがどう考えているか問う。

答、市長

財政の健全化は当然のことです。経常経費を身軽くし、市民生活のための施策を厚くすることが、行政運営の基本

質問要旨

れますが、今回は20名の議員から34件の質問がありました。



春の風にそよぐ (ボケの花)



日野の春 (百草園)

夏井 明男

(公明党)

崩壊危険箇所についての対策を望む

問、大坂上二丁目15番地(甲州街道沿い)、東豊田三丁目30番地の地域についての対策を問う。

答、生活環境部長

地域の関係者と協力し、各々の土地所有者又は、管理者にその対策についての要請行動等を求めています。

市営学習室(自習室)構想

問、最近の図書館利用の状況について問う。

答、市長、教育次長

図書館の開館時間は市民生活の実態に合っていない面もあり、実施できる方向で検討してきたい。なお、現在の図書館は、図書等の貸出、閲覧が主業務で学習室を確保できる余地がなく、今後、新たな課題として考えます。

市営保養センターの建設

問、日野市の保養施設の現状について問う。

答、教育長、企画財政部長

一般が使用できる保養施設はありません。今後、安曇村に建設を検討しています。

竹ノ上 武俊

(日本共産党)

天皇問題は主権在民と地方自治を守る立場での対応を要す

問1、自治体、教育委員会に対し、政府等上部機関から、天皇問題にかこつけた自衛隊の強制があったか問う。

問2、今後、締めつけがあった場合の対応を問う。

答、総務部長、教育長

答1、現在まで、通達その他一切ございせん。

答、教育長

答2、象徴天皇に対する礼を失わない範囲で対応します。

答、市長

答2、憲法第99条に示すとおり振る舞いたいと思います。

百草園小学校周辺緑地への7階建てマンション建設について問う

米沢 照男

(日本共産党)

市民本位の民主的な行政のいっそうの前進をめざし第5期革新日野市政の実現を!

問、市民の暮らしと地方自治を守るために。市民の暮らしを優先したまちづくりを進めるために。平和と民主主義を守るために。引き続き市民の



問、小中学生のつらさを十分鍛練しておくことにより、後の健康が保障されるという。しかし、これらは学校の屋内体育館で行うよりも、屋外の運動場で行う方が、日光と健康という面で効果がある。そのために第一小学校の校庭を整備してほしい。

答、教育次長

一小については、来年度、建具改修工事を実施しているもので、これと並行して校庭の整備もしたいと考えています。

谷 長一

(自由市民会議)

小中学校の児童、生徒を学校毎にみて、子供の健康は、親、先生が手本た

問、今の時代はお金万能というが、赤信号も大勢で渡れば怖くないという風潮がある。子供の主体性を育て、何事にも勇気を持って立ち向かう生き方、地味な努力や、しつけ教育をする必要がある。親と教師は、手を取り合って手本となり、子供とともに学ぶ姿勢が大切ではないか。

答、教育長

教育は人にあり、人が一番

福島 盛之助

(自由市民会議)

土地区画整理事業の推進と当局の対応問題点

問1、区画整理の市施行と組合施行の相違と区画整理の対応は充分か問う。

問2、本町北地域整備計画と四ツ谷前区画整理の関係について問う。

問3、都市計画道路2・2・11号線建設と2・1・1号線の幅員を問う。

問4、東光寺上農地の今後の対応を問う。

答、都市整備部長

答1、組合施行の場合、権利

せよ!

問、南部地域への医療機関誘致と市立病院の建てかえ計画について問う。

答、市長

日野市の土地を提供し民設民営の形で事業を進める見通しです。市立病院については機能を存続させながら改築改造が成り立つ方法で検討を進めつつあります。

者の4以上同意者が必要となり、家屋が少なく、農地が多い地区が対象となります。市施行の場合、都市計画施設が多く、権利者の同意は特に必要はありません。いずれにしても結果は同じであります。

市の区画整理の対応は、組織改正して、事業量の増大に対応しています。

答2、この地域の整備は、区画整理とは別に考えています。

答3、2・2・11号線は区画整理事業の中で実施し、2・1・1号線の幅員は、20mを予定しています。

答4、農業、工場、学校を組み合わせた方法を考えます。

一般

各定例会では、市政全般について一般質問が行わ

小山 良悟

(自由市民会議)

森田市長、4期16年間本
当にご苦勞様でした。
勇退の時期と思うがその
考えを問う。

問、行政の活性化のために
勇退の時期と考えるが。

答、市長

任期を全うし今後の日野市
発展と市民の幸せのためにレ
ールを敷いておくことです。

市民の健康維持向上に市
立病院の積極的な役割を
望む

問1、最近3カ年間の有病率

と医療費の傾向と今後の予測
について問う。

問2、体質改善と生活改善
について問う。また市立総合
病院は治療だけでなく予防医
療にも取り組めないか問う。

答、市立総合病院長

答1、有病率は国民3.5人に1
人、医療費は国民1人当り年
約七千円ずつ増加していま
す。今後も脳血管障害・心臓
病・がんが主な死因となりま
す。

答2、遺伝的体質を持ってい
ても食生活改善、薬品等によ
り疾病の発症を予防できます
治療医療の充実と共にがん検
診、短期ドック等予防医療に
も取り組みを検討しています。

高橋 徳次

(自由市民会議)

事業ができる予算を組みま
す。

問3、市長に慢心といつも
のがあると思ふは、一考して
欲しいと思うがどうか。

問4、高幡地区に医療施設が
充実していくことに異存はな
いが、時間をかけて行つて欲
しいものだと思うがどうか。
答、市長

山口 達夫

(自由市民会議)

豊田南区画整理事業の進
捗状況について問う
(住民意思を尊重するル
ール作りはできないか)

問1、仮換地の決定はいつか。
問2、二小前に築造される工
事用仮道の安全対策と、近隣
住宅街への対応を問う。

問3、事業推進にあたり、社
会情勢の変化に伴い、従来の
方法と角度を変えて考える工
夫が必要と思うがどうか。

問4、豊田駅北口の公園用地
を事業に活用できないか。

古賀 俊昭

(自由市民会議)

「日野市行財政改革に関
する基本方針」は推進さ
れているか(給料表の適
正化、定数管理の適正化、
OA化推進を中心に)

問、通し号俸制の廃止、職員
定数問題、OA化に伴う効果
について問う。

答、企画財政部長、総務部長
職務給制度へ到達するよう
努力し、職員数を精査、見直
しをして、交付事務等の短縮
を図りたいと考えています。

小学校校長の「米飯給食

今後、指導していきます。



春に薫る沈丁花



水鳥あそぶ浅川

奥住 日出男

(市民クラブ)

行政改革の進捗状況につ
いて問う
—推進事項の具体的な
取り組み内容とその実施
率—

問1、市職員の給与、人事管
理、職員定数の適正化を問う。

問2、組織の簡素化、外部委
託、事務事業の見直しの取り
組みを問う。

問3、自主財源の確保と国・
都への要望について問う。

答、総務部長

で進んでおり、現在、係長以
下の導入に向け組合と交渉中
です。昇任制度は公平な選択
方法を検討しています。職員
の資質の向上は、研修所や市
独自の研修で努力していま
す。職員定数は各課をチェッ
クし適正配置に努力します。
答、企画財政部長

今、自治体間競争の時代と
いわれる。市民の望む質の高
い施策を追求するために、行
政に望むことは、意識改革で
ある。自治体職員の仕事の仕
方として、実務的施策の遂行
やミスをしないことに重点が
おかれてきたが、これからは
新しい仕事に挑戦すべきであ
るという観点で質問します。
問1、政策企画立案能力を高
めるため、それぞれの部署か
ら企画をくみあげる組織づく
りが必要であると考えが。
問2、各部署における専門職
の位置づけを高め市民と競合
し相乗効果をもちたしながら
施策を展開すべきと考えが。
答、市長

福島 敏雄

(社会クラブ)

文化都市日野市建設に向
けて行政の活性化を追求
しよう

問1、自治体間競争の時代と
いわれる。市民の望む質の高
い施策を追求するために、行
政に望むことは、意識改革で
ある。自治体職員の仕事の仕
方として、実務的施策の遂行
やミスをしないことに重点が
おかれてきたが、これからは
新しい仕事に挑戦すべきであ
るという観点で質問します。
問1、政策企画立案能力を高
めるため、それぞれの部署か
ら企画をくみあげる組織づく
りが必要であると考えが。
問2、各部署における専門職
の位置づけを高め市民と競合
し相乗効果をもちたしながら
施策を展開すべきと考えが。
答、市長

板垣 正男

(日本共産党)

市民サービス向上めざす
市政を

問、市施設の利用時間等、規
則の再検討を問う。

答、福祉部長、教育次長
市民の利用実態に合わせ、
今後検討していきます。

小俣 昭光

(日本共産党)

緑と清流を生かすまちづ
くりについて

問1、次の場所等の緑の保全
を進めたい。①旭が丘五
丁目、西平山五丁目境の西
大助緑地、②東平山一丁目
の、③豊田の区画整理地内
問2、浅川親水計画の進み具
合を聞きたい。

問3、高幡市営住宅南にある
水の浄化施設は今後も使うか。
問4、浅川の水量確保の為、
雨水を活用してはどうか。

問5、より水に親しむ為、第

中山 基昭

(市民クラブ)

行政の当面する課題とそ
の対応について(主とし
て都市生活環境の整備)

問1、基本計画推進に当たり
「物も、心も」住生活と地域
産業経済の視点があがるべき
と思うがどうか。

問2、下水道の整備促進を図
って欲しいが状況はどうか。
問3、交通関係は如何様か。
問4、公営住宅の整備と拡充
を図りたい。また、旭が丘
四丁目建設中の公営住宅に
関する準備は大丈夫か。

答、市長

国際交流について

答、市長

問、財政面の援助等や交流の
場を提供する団体の設立また
は市に窓口を設けてはどうか。
答、市長

問、栄町の都営住宅用地内へ
の建設見直しについて問う。

栄町地域にコミュニティセンターを

答、市長

問、栄町の都営住宅用地内へ
の建設見直しについて問う。

答、市長

問、栄町の都営住宅用地内へ
の建設見直しについて問う。

答、市長

常任委員会の審査状況
請願・陳情

総務委員会

継続

◎都営住宅家賃値上げ中止の意見書提出を求める請願
◎鉄道共済年金の安定的財政確立に関する請願
◎東京都住宅供給公社住宅の家賃値上げ中止を求める意見書提出の請願
◎法務局の増員に関する要請についての陳情

取り下げ



水仙

文教委員会

採択

◎郷土芸能の保存に関する請願

【請願の要旨】 日野に古くから伝わる祭りの囃子を少年少女と共に練習しています。郷土芸能の保存、青少年の健全育成という見地から、このような団体の認識と育成への援助を願うものです。

【結論】 全員一致の採択です。

◎「中学校40人学級を3年生より行う逆学年進行方式実施」の日の野市議会に対する請願

【請願の要旨】 40人学級を3年生より行う逆学年進行方式実施と40人学級早期完全実施を、政府、都に対して働きかけることを求める請願です。

継続

◎義務教育費国庫負担制度堅持の意見書の提出を求める陳情

◎日野市立第二中学校音楽室に机を設置させるべく日野市教育委員会に勧告に関する請願

◎再び万願寺一里塚現状保存を訴える陳情

◎日野市営グラウンドの充実に求める請願

取り下げ

◎義務教育諸学校の学校事務職員に対する義務教育費国庫負担制度の維持に関する陳情

◎公立中学校英語の授業時間増に関する陳情

◎第三幼稚園における2年保育4歳児の増員に関する請願

厚生委員会

採択

◎老人入院見舞金制の制定と実施に関する請願

【請願の要旨】 老人が医師の診療を受け、入院する場合、老人保健法に基づき、重い自己負担をしなければなりません。老人の健康保持と負担軽減のため、この制度の創設を求めるものです。

【結論】 全員一致の採択です。

継続

◎東町地区公舎に関する請願

◎犬の不妊・去勢手術に関する請願

◎旧軍人軍属恩給欠格者救済に関する請願

【請願の要旨】 軍歴期間不足のため、何等の処遇もされていない恩給欠格者がいます。旧軍人軍属恩給欠格者を対象とし、慰藉の措置を講ずるよう関係機関へ市議会から意見書を出してほしい。

【結論】 全員一致の採択です。

◎市と市内病院（獣医師）との委託契約の改善と猫に對しての不妊・去勢手術に對する補助に関する請願
◎保健、医療、福祉の拡充に関する陳情
◎沢川広場に便所および水道設備設置並びに広場拡張に関する請願
◎放射能測定器設置の請願
◎コミュニティセンター建設に関する請願

建設委員会

採択

◎「宅地開発指導要綱」にもとづく公的負担の軽減に関する請願

【請願の要旨】 宅地開発指導要綱に基づき、開発者に公園の設置や負担金の拠出など社会資本整備に対する厳しい負担を義務付けている。同要綱の見直しを求めるものです。

◎多摩平六丁目32番地の8、9に建設予定のマンション建設阻止に関する請願

【請願の要旨】 多摩平は住宅地域として環境整備と維持に努めています。そこに突出した建築物が建設されることのないよう適切な処理を講じられる事を求めるものです。

◎日野市東平山地区における緑地を守るとともに、私有地の買い上げを求める請願

◎「宮」町名存続要望に関する陳情



【陳情の要旨】 米国の貿易摩擦の解消を図るため、農産物の自由化を強めている。主要食糧は、国内自給を基本とする農業政策を確立することを目指すものです。

【結論】 賛成少数で不採択です。

継続

◎山王下公園周辺の市営駐輪場設置反対に関する陳情

◎「宮」町名存続要望に関する陳情

今定例会で議決した議案

(可決………可修正可決………可修)

市長提出議案

- 1、日野市立幼児教育センター設置条例の一部を改正する条例 (修可)
- 2、日野市特別会計条例の一部を改正する条例 (可)
- 3、日野市職員の分限に関する条例の制定 (可)
- 4、日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (可)
- 5、日野市市税条例の一部を改正する条例 (可)
- 6、日野市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例 (可)
- 7、日野都市計画事業万願寺土地区画整理事業施行規程を定める条例等の一部を改正する条例 (可)
- 8、財団法人日野市環境緑化協会に対する助成等に関する条例の制定 (可)
- 9、日野市立保育園設置条例の制定 (可)
- 10、昭和63年度日野市一般会計補正予算 (第3号) (可)
- 11、昭和63年度日野市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) (可)
- 12、昭和63年度日野市土地区画整理事業特別会計補正予算 (第2号) (可)
- 13、昭和63年度日野市下水道事業特別会計補正予算 (第3号) (可)
- 14、昭和63年度日野市立総合病院事業会計補正予算 (第2号) (可)
- 15、昭和63年度日野市受託水道事業特別会計補正予算 (第2号) (可)
- 16、昭和63年度日野市農業共済事業特別会計補正予算 (第1号) (可)
- 17、昭和63年度日野市老人保険特別会計補正予算 (第1号) (可)
- 18、市道路線の認定 (可)
- 19、土地所有権確認等請求事件に関する和解の締結 (可)
- 20、農業共済無事戻金の交付 (可)
- 21、南多摩農業共済事務組合の設立 (可)
- 22、日野市一般職の職員の昭和63年度12月期における期末手当の特例に関する条例 (可)
- 23、日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (可)

議員提出議案

(可決された意見書は、関係機関に送付されました)

- 1、学校事務職員等の給与費国庫負担制度除外に反対する意見書 (可)
- 2、旧軍人軍属恩給欠格者救済に関する意見書 (可)

特別委員会中間報告(要旨)

◎市立病院等対策特別委員会

当委員会は、63年3月に設置された委員会です。これまで、7回にわたり検討を加えてきましたが、今回、前半期のまとめとして中間報告をいたします。結論としては、市立病院の拡充整備は急務であり、市民要望にこたえるには、今までのような増改築での対応ではもう無理で、新しく病院を建設し、診療内容を充実していくことが大切だ、ということになります。

後半期は、引き続き、二次医療体制確立のために必要なベッド数の確保、財政的な問題、建設位置の問題、総合医療体制の確立、これらの論議をより深め、総体としての結論に至りたいと考えています。(口頭説明に先立ち、報告文が議場に配られました)

編集後記

年末、年始はあきと、スキー場、温泉あるいは自宅などで、皆さんそれぞれのかたちで過ごされたことと思います。早いもので、また1年が過ぎて行きましたが、めぐって来る時節は毎年同じでも、私達を取り巻く環境は年々変化して行きます。お正月は、その日々経験の積み重ねを反省し抱負という、思いを新たにさせてくれる、一つの大切な節目かも知れません。80年代最後の年を迎え、遠いと思っていた21世紀も手に届くところまでやってきました。

今年の干支である巳「へび」は、大きく成長するたに脱皮するといわれております。新しい時代の「平成元年」をステップに、21世紀に向かって大きく飛躍していきたいと思います。健康にお気をつけ下さい。風邪が流行しています。